

衆議院議員 9期26年
細野豪志が貫いてきた
政治理念と
前回選挙以降の実績
(1年3ヶ月)

2 内政は弱い者の立場に立つ

超党派の教育格差WTの座長として

- ▶学校入学時の費用を抑えるため学校備品の充実を実現
- ▶夏休み学童保育に通う子供たちへの昼食の提供に道筋をつけました
- ▶大学入学金の二重払いの解消を順次実現
- ▶児童相談所の機能を充実し、児童虐待への対応を強化

国民を守る!地域を守る!

1 安全保障・エネルギー政策は現実主義

自衛官の処遇改善と退職自衛官の再就職支援の充実を実現

自民党南海トラフ地震対策検討委員長として
犠牲を最小限に抑えるべく取り組みを進めてきました

..... 安定した電力は強い経済に不可欠です

- ▶自民党原子力規制に関する特別委員長として、安全性が確認された原発の再稼働を実現
- ▶地熱議連の代表として、政府の地熱フロンティアプロジェクトを主導

3 地元の代表として全力を尽くす

- ▶三島田方地区を水害から守るため、狩野川放水路の拡張が2026年度から始まります
- ▶不登校の子供たちが通うことができる公立の「学びの多様化学校」の静岡県東部での設立を後押し
- ▶新富士駅南口と富士駅北口開発を推進し、両駅の自動運転によるバス運行の実証実験を実現
- ▶岳南地域の渋滞を解消するため、富士富士宮道路建設の調査を後押し
- ▶北駿の地元事業者優先の制度を確立し、自衛隊施設の建て替え工事を順次実現
- ▶富士山一周ナショナルサイクルルート指定を間もなく実現

戦後、最も厳しい安全保障環境への対応
インフレ下での経済成長を
実現するためには安定した政治が
欠かせません。
細野豪志は、地元の皆さんとの
信頼関係と積み上げてきた
経験の礎にこれからも政策で
「結果」を出していきます。



ことを為すために

細野豪志

【略 歴】 1971年8月21日生まれ
京都大学法学部卒業／三和総合研究所研究員
28歳で衆議院議員初当選
【主な公職】 原子力発電所事故収束担当大臣
環境大臣／総理大臣補佐官

自民党